

# ハロー フレンズ



2026年 9月号 (年3回発行) 第172号

## 上福岡七夕まつりに出店、FICECブースに1500人が来場しました。 1,500 people visited the FICEC booth at the Kamifukuoka Tanabata Festival.

8月8日と8月9日(日)の2日間、上福岡地域において七夕まつりが開催されました。FICECは例年通りピンボールゲームと輪投げで市民との交流を行いました。ピンボールゲームは理事やスタッフの手作りで、スライド板(底板)は、子どもクラブの学習者も参加してオリジナルのペイントをしました。

8月8日(土)、搬出スタッフはゲーム機材、看板・景品等を積込み、11時に集合しているスタッフと合流して、看板などの設営、ゲーム準備を行いました。当日は35度を超える猛暑で開店後の人出はまばらでしたが、午後2時を過ぎた頃から来場者が増え4時には長蛇の列ができました。

FICECはスタッフやボランティアを中心に2時間ごとの担当者リストを作成し、来場者への対応を行い、1500人のお客様と楽しいひと時を過ごしました。

七夕まつりは毎年8月初旬に開催されることから、体力的にとってもきついイベントですが、行政との協働、国際理解、共生の地域社会づくり事業として今後も取り組んでいきたいと思ひます。来年はFICEC会員の皆さまのサポートをお待ちしています。

The Tanabata Festival was held over two days, August 8 and 9(Sunday), in the Kamifukuoka area. As in previous years, FICEC set up a booth and interacted with local residents through pinball and ring toss games. Pinball was handmade by board members and staff, and the slide boards (base plates) were painted by learners from the Children's Club.

On Saturday, August 8, the setup crew loaded the game equipment, signs, and prizes the day before and early that morning. They then joined the staff gathered at 11:00 a.m. to set up the signs and prepare the games. The day was sweltering, with temperatures exceeding 35 degrees, so attendance was sparse right after opening. However, around 2:00 p.m., the number of visitors began to increase, and by 4:00 p.m., a long line had formed. FICEC created a staff list and volunteers on a two-hour rotation to assist visitors, and we had a wonderful time with 1,500 guests.

Since the Tanabata Festival is held every year in early August, it is a physically demanding event, but we intend to continue participating in the future as part of our efforts to collaborate with local government, promote international understanding, and build a community based on coexistence.



---

---

# FICEC のホームページ リニューアル

## FICEC Website Redesign

ウェブ担当 大野 渉

Web Manager: Ono Wataru



何度も話し合いを重ねてきたFICECのウェブサイトのトップページが、2026年6月によりやりリニューアルできました。

歴史のあるFICECのウェブサイトには実に多くの情報が掲載されており、どこから手を付けるべきか整理するのは大きな課題でした。「サイトをより良くしたい」というスタッフ共通の想いのもと協議を重ね、「どのような方々が訪れているのか」「どのようなメッセージを届けたいのか」を一つひとつ確認しながら、掲載情報の優先順位を組み立てていきました。

今回のリニューアルでこだわったのは、スマートフォンで見やすくすること、そしてアクセスする人たちの目的に応じて必要な情報へ迷わず辿り着けるようにすることでした。

具体的には、異文化理解やコミュニケーションに関心のある日本の方々と、生活サポートや日本語の学習を求める外国ルーツの方々という2つのユーザー像を軸に設計しました。特に外国ルーツの方々に向けた情報整理に重点を置き、ニーズの高い「日本語教室」や「翻訳・通訳サービス」などへの導線を強化しました。

ウェブサイトにおいて大切なのは、支援を必要とする人に情報が届き「ここなら安心して相談できる」と感じていただくことです。今回のトップページを第一歩として、今後も皆さまと共に、より頼れるウェブサイトへと育ててまいります。

After numerous discussions, the FICEC website's homepage was finally redesigned in June 2026.

The FICEC website, with its long history, contains a vast amount of information, and figuring out where to start was a major challenge. Guided by our shared desire to “improve the site,” we held numerous discussions and carefully determined the priority of the content by examining, one by one, “who our visitors are” and “what message we want to convey.”

With this redesign, we focused on making the site easy to view on smartphones and ensuring that visitors can find the information they need without getting lost, depending on their purpose for visiting.

Specifically, we designed the platform around two key user profiles: Japanese people interested in cross-cultural understanding and communication, and people of foreign descent seeking daily life support and Japanese language learning. We placed particular emphasis on organizing information for people of foreign descent and strengthened navigation to high-demand resources such as “Japanese language classes” and “translation and interpretation services.”

The most important thing about our website is ensuring that information reaches those who need support and that they feel, “I can consult with them here with confidence.” With this new homepage as our first step, we will continue to work with all of you to develop a website that is even more reliable.

## 国際理解講座で小学校へ Global Understanding School Workshop

国際理解講座担当 安 銀柱

International Understanding Coordinator:  
Ahn EunJoo

7月10日(金)、国際理解講座のため富士見市内の小学校へ行ってきました。昨年に引き続き、4年生の授業です。

1時間目は、中国のウイグル自治区出身のボランティアと、フィリピン、韓国出身のスタッフが、それぞれの母国について紹介しました。

2時間目は、児童の皆さんが事前に調べた国ごとにグループに分かれ、服装や言語、文化などについて発表してくれました。その後は、韓国の「チェギチャギ」、フィリピンの「ジャックストーン」、中国の「鷹とひよこ」など、それぞれの国の遊びを一緒に楽しみました。「チェギチャギ」を調べた児童が、「パッドで調べてもどうやって蹴るのか分からなかったけど、こうやって蹴るんだね!」と楽しそうに話す姿が印象的でした。

先生からは、「インターネットで調べるだけでは分からないこともあります。人と人が実際に会って話すことで交流が生まれますね」というお話が印象に残りました。

そして約1か月後、8月の七夕祭りで一人の女の子が「〇〇小学校に来てくれましたよね!」と声をかけてくれました。あの日、私のグループにいた児童でした。覚えていてくれたことがとてもうれしく、先生の言葉を改めて実感しました。

FICECでは、児童の皆さんが授業のために調べてまとめた作品を展示しています。ぜひお立ち寄りください。

On Friday, July 10, I visited an elementary school in Fujimi City for an international understanding program. As I did last year, I taught a class of fourth graders.

During the first period, a volunteer from China's Xinjiang Uyghur Autonomous Region and staff members from the Philippines and South Korea gave presentations about their respective home countries.

During the second period, the students were divided into groups based on the countries they had researched beforehand and gave presentations on topics such as clothing, language, and culture. Afterward, we all enjoyed playing traditional games from each country together, such as "Chegi-chagi" from South Korea, "Jack stone" from the Philippines, and "Eagle and Chick" from China. It was particularly memorable to see the students who had researched "Chegi Chagi" happily remark, "Even after looking it up online, I didn't understand how to kick it, but now I see—this is how you do it!"

I was particularly struck by what the teacher said: "There are some things you just can't learn by searching the internet alone. It's when people actually meet and talk face-to-face that real connections are formed."

Then, about a month later, at the Tanabata Festival in August, a little girl came up to me and said, "You came to XX Elementary School, didn't you?" She was one of the students in my group that day. I was so happy that she remembered me, and it made me truly appreciate what the teacher had said.

At FICEC, we are exhibiting projects that the children researched and compiled for their classes. Please feel free to stop by.



## 国際子どもクラブでのインターンシップ

文京学院大学の学生さんたちが、土曜日の子どもクラブで外国ルーツの子どもたちと関わった記録をご紹介します。紙面の都合で一部省略等があります。

### ・文京学院大学4年 Aさん

(活動) 前回来た時に付いた子どもの兄に付きましました。国語の問題を見てあげました。

2人目は兄弟で来ている中国人の6年生の兄に付きましました。母語が中国語なのに日本語で英語を勉強し、わからないところは日本語で質問できていました。

(感想) 前は、小学2年生の子どもを見て、今回は6年生の子どもを見ていて気付いたことは、学年が上がるにつれて日本語の習熟度も理解度も高くなることです。

彼らにとって小学校やFICECという場所は、日本語という言語で友だちと関わる場所なので、友だちと関わり遊んでいく中で自然と日本語を学んでいくのではないかと思います。日本人と多く関わる機会を持つことで、座って一人で勉強するよりも、日本語が上手になるだろうと思いました。

その後は中国版大富豪を観察して、日本とはルールが違うので見ていて楽しかったです。



### ・文京学院大学4年 Bさん

(活動) 子どもたちはFICECに来たら席に着き、学校からの宿題や、FICECが用意した日本語の勉強をしていました。私は中国と日本の親を持つ子を担当しました。日本語はしっかりわかっていました。漢字に音読みと訓読みがあり、単語によって読み方が変わるのが少し難しいようでした。隣に座っていた同じ学校のベトナム人の子どもと楽しそうに勉強していました。

(感想) 学校の勉強だけでなく、日本語のワークブックもやっていました。学校では基本的にみんなと同じ勉強しかできないと思うので、日本語を勉強

できる場があるのがとてもいいなと思いました。

参加してみると、子どもによっては辞書を引ながら宿題をしている子もいて、スタッフやボランティアの方も少しだけ中国語がわかるくらいだったので宿題を一つ終えるのにもとても時間がかかってしまうだろうなと思いました。

こういう場所がもっと知られてボランティアが増えたらいいなと思いました。



### ・文京学院大学4年 Cさん

(活動) 兄弟のAくん、Bくんの二人とCちゃんに関わりましました。Aくんはプリントの穴埋め問題に回答せず、問題を書き写していました。

Cちゃんに時計の見方を教えたが、長い針と短い針の見分け方が苦手な様でした。長い針が「6」を指した時「はん」になることの説明が難しかったです。学習の後は担当した子たちといっしょにゲームしたり絵本を見たりしました。

(感想) Aくんは中国語で話しかけてみた後、今度は日本語で話すとAくんは「どうして日本語を話しているの、中国語にして。」と伝えてきました。理由を尋ねたら日本語を話すことがあまり好きではない

ようでした。外国籍の子どもたちは普段の学校生活では母語を話す機会が少ないため、FICECに来て母国の人に出会ったら母語を話したい気持ちが強くなると実感しました。外国籍の子どもたちは自分の第一言語を大切にされていて、一番話しやすいコミュニケーション手段であると思いました。

また、Cちゃんに日本語で時計の見方を教えることが難しかったです。どのような日本語表現を使ったら子どもが理解できるか少し戸惑いました。日本語を教える立場になると指導員自身の語彙力、日本語能力を見直すことが必要だと思いました。

# 多文化共生社会の実現に向けて

外国人在留支援センターによる研修会報告

生活相談担当 山畑博子

2026年7月21日(火)

- 講義内容
- 1 入管行政の基礎知識
  - 2 主要な在留資格の解説
  - 3 多文化共生社会の実現に向けた政府の取組みと新入管法の概要
  - 4 FRESCの紹介

研修内容の概略

- 1 令和7年度の在留外国人数  
412万5,395人→日本の総人口の3,35%
- 2 在留資格別順位  
1位永住者 2位 技術 人文知識 国際業務 3位留学
- 3 国籍別内訳  
1 中国 2 ベトナム 3 韓国 4 フィリピン
- 4 難民認定等の手続き  
出入国在留管理庁ホームページで確認できる。
- 5 観光ビザから難民申請に変更できる基準  
人道上の配慮が高い人から優先。  
審査に係る期間を配慮してビザを出す。
- 6 文化共生社会の実現に向けたロードマップ  
〈三つのビジョン〉  
安全、安心な社会  
多様性に富んだ活力のある社会  
個人の尊厳と人権を尊重した社会

7 在留資格の更新の判断基準 ホームページのガイドラインで確認の事。

8 外国人在留支援センター(FRESC)の業務内容について  
個人や企業からの相談対応、11以上の言語で対応可能、その他の言語も配慮可  
オンラインでの相談、無料相談、匿名相談等 希望に応じた様々な対応が可能  
法務局、法テラス、ハローワーク、労働局等による多方面の相談、助言が可能

沢山の資料をスクリーンで確認しつつ、丁寧な説明を聞くことが出来ました。頂いた資料は、生活相談時に随時確認できるよう事務局の資料棚にファイルして置いてあります。是非ご活用ください。



## 毛呂山町で『多文化共生の地域づくり』について講演しました。

副理事長 永田信雄

毛呂山町の生涯学習課から招かれ「生涯学習人権教育講座第3回」で「共生の地域社会づくり」をテーマに講演を行いました。令和8年度の毛呂山町人権教育講座は、「身近な人権課題を一緒に考えるところから実践してみませんか？」をテーマに年間8回開催されます。

「第1回『虐待のない社会を目指して』～虐待の現状と県の取組～」、「第2回『災害・防災と男女共同参画』＝埼玉県男女共同参画推進センター」に続いて、「第3回『多文化共生の地域社会づくり』」が設定されています。

ふじみの国際交流センターは二市一町から委託を受けて生活相談事業や多言語情報事業を行っている

こと、日本語教室や国際子どもクラブの活動を紹介し共生の地域社会づくりの活動を行っていることを報告しました。

その後資料をもとに「間もなく毛呂山町も外国人ルーツの町民が1000人となる」、「毛呂山町も外国人に対する理解を深め多文化共生を取り組んで欲しい」と課題提案を行いました。

講演後のアンケートでは、「現在何かと世間を騒がせている外国人問題についてお話を聞き勉強になりました。」や「これからの生活で共生の地域づくりに役立ちました。知らないことがあり役立ちました」などの感想を頂きました。

## 富士見市国際交流フォーラム2026のお知らせ

Announcement: Fujimi City International Exchange Forum 2026

地域の国際化が進む中で、多様な文化について互いに理解を深め、ともに豊かに暮らすことができる多文化共生の地域づくりを目指して、富士見市では毎年国際交流フォーラムを開催しています。

FICECは午後1時25分から「わいわいワールドトーク」のコーナーで、外国籍の方々、一般参加の方たちを交えて「世界の鉄道」をテーマに、各グループでわいわいトークを行います。みなさまもどうぞ参加ください。

他にも、富士見市ユースコーラス、「国旗」についての講演やクイズ、着物や民族衣装の試着、白バイ試乗、警察官制服試着、セルビアフェスタ、お菓子の配布、世界のお茶の試飲、スタンプラリー、国際交流関係団体の展示などもあります。どうぞお越しください。

(国際フォーラム担当 茂木 久美子)

日時:10月4日(日曜)、午後1時～午後4時

場所:ふじみ野交流センター

(多目的ホール、交流コーナー、ギャラリー、視聴覚室、ホワイエ)



←地図/Map

As our community becomes increasingly international, Fujimi City hosts an annual International Exchange Forum with the goal of fostering a multicultural society where we can deepen our mutual understanding of diverse cultures and live together in harmony.

Starting at 1:25 p.m., FICEC will host the “Waiwai World Talk” segment, where foreign residents and members of the general public will join together in small groups for lively discussions on the theme of “Railways Around the World.” We invite everyone to participate.

Other highlights include a performance by the Fujimi City Youth Chorus, a lecture and quiz on “National Flags”, the chance to try on kimonos and traditional ethnic costumes; test rides on police motorcycles, the opportunity to try on police uniforms, the Serbia Festival, free snacks, tea tastings from around the world, a stamp rally, and exhibits by international exchange organizations. We look forward to seeing you there.

(Mogi Kumiko, International Forum Coordinator)

Date and Time: October 4 (Sunday),  
1:00 PM – 4:00 PM

Location: Fujimino Koryu Center  
(Multipurpose Hall, Community Corner,  
Gallery, Audio-Visual Room, and Foyer)



上左:わいわいトーク「日本で旅行に行つてよかった場所は？」  
上右:FICECの活動についてまとめたポスターを展示しています  
下左:FICECスタッフと協力してくれた外国人参加者

Top left: “Waiwai Talk”: “What are some great places to visit in Japan?”  
Top right: Posters summarizing FICEC’s activities are on display.  
Bottom left: FICEC staff and international participants who helped out.

## バザーへのご協力をお願いいたします

We would appreciate your support for the bazaar.

11月29日(日)に開催されるバザーに向けて、バザー用品のご寄付をお願いしております。

食器、キッチン用品、生活用品、子ども・ベビー用品、文房具、事務用品など、新品または新品同様のものを募集しています。

衣類につきましては、冬物のアウターのみ受け付けております。

寄付していただける品物や受付方法など、詳しい内容については、お電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください。

皆様の温かいご協力を、心よりお願いいたします。

(バザー担当 安銀柱)

We are asking for donations of items for the bazaar to be held on Sunday, November 29.

We are accepting new or like-new items such as tableware, kitchenware, household goods, children's and baby items, stationery, and office supplies.

Regarding clothing, we are only accepting winter outerwear.

For more details on acceptable items and how to donate, please feel free to contact us by phone or email.

We sincerely appreciate your generous support.

(Ahn Eun Joo, Bazaar Coordinator)

## 寄付のご案内／Donation Information

### ソフトバンクの「つながる募金」から寄付

スマートフォンから簡単に寄付ができます。ソフトバンクをご利用の方は利用料金と一緒に寄付できます。それ以外の通信事業社をお使いの方は、クレジットカードやPayPayが使用できます。

QRコードからつながる募金のFICECのページにアクセスしてください。



つながる募金 FICEC にアクセス / Access the "Connecting Donations FICEC" page

### Donate through SoftBank's "Tsunagaru Bokin"

You can easily make a donation from your smartphone. If you're a SoftBank customer, you can donate along with your monthly bill. If you use another mobile carrier, you can donate using a credit card or PayPay.

Please visit the FICEC donation page by scanning the QR code.

### FICECのマンスリーサポーターになる

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみなさま、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

### 1回のみ、または不定期でサポートする

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

### [マンスリーサポーターになる方法]

- ①HPの申込フォームまたは電話(049-256-4290または049-269-6450)でご連絡ください。
- ②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。
- ③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。
- ④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。



FICEC HP

または、現金書留をお願いします。

送付先:〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福5-4-25

NPO法人ふじみの国際交流センター

## FICECの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

### ●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

### ●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511

口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

## 外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
FICECをご紹介します。

※コピー代など料金がかかる場合があります

## ご寄付をいただいた方々 ご支援ありがとうございます

### ●2026年1月1日～2026年7月31日(敬称略)

相本恵美子、穴沢エミリン、新井順子、安昌美、安銀柱、上島直美、大野渉、片倉ミン、北林ジャネッテ、ギャレット三宅万里子、後藤勉、後藤深雪、小林暁美、小森恵友、佐々木路子、進洸子、斯琴、關玲奈、塚本秀樹、戸塚咸子、ニッカ電測株式会社、長谷川正江、バイラアスラム、松木咲希、水野毅、茂木久美子、山下綾子、山畑博子、吉井ジュリエッタ、匿名1名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、末吉智子、仲野京子、野田恭三、吉野高章

## Free Counseling for Foreign Residents

Monday–Friday, 10:00 a.m.–4:00 p.m.

Phone: 049-269-6450

\*Fees, such as copying charges, may apply.

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

## ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25

TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291

生活相談専用電話 049-269-6450

## ふじみの国際交流センター

### サービス案内

(詳しくはお問い合わせください)

|               |                                 |                     |                 |
|---------------|---------------------------------|---------------------|-----------------|
| 外国人<br>ゲスト派遣  | 国際理解教育                          | 3,000円＋事務費＋税        |                 |
|               | 外国料理教室                          | 5,000円（材料費別途）＋税     |                 |
| 講師派遣          | 多文化共生講座                         | 20,000円＋税           |                 |
|               | ボランティア講座                        | （活動運営のためご協力ください）    |                 |
| 企画・運営         | 国際交流・国際理解に関する<br>イベントや研修の企画・運営等 |                     | 内容・予算に<br>応じて相談 |
| 編集・出版         | 多言語による情報誌・ガイド<br>ブック・チラシなどの制作   |                     |                 |
| 翻訳            | 婚姻関係、ビザ<br>申請、履歴書等              | A4 4,000円／ページ<br>＋税 |                 |
| 通訳            | 半日6,000円＋税                      |                     |                 |
| 見学・研修（資料代として） |                                 | 1,000円／人、日＋税        |                 |

※別途交通費がかかる場合があります